CASIO 5160P＊JA

取扱説明書　保証書付

5160

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。

⃠記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。

●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計脱着の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

操作のしくみと表示の見方

Ⓑ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

時刻・日付モード



★ 表示の見方



★曜日の見方

SU：日　MO：月　TU：火　WE：水
TH：木　FR：金　SA：土

ストップウオッチモード

1/100 秒単位（1 時間以上になると 1 秒単位）で 9 時間 59 分 59 秒まで計測できます。





※リコールモードで、<ラップ表示>を選んでいるときはラップタイムを、<スプリット表示>を選んでいるときはスプリットタイムを表示します。

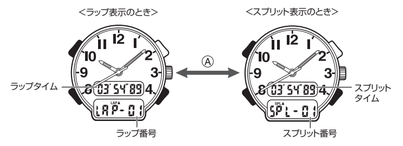
アラームモード

アラーム時刻・時報セットができます。



リコールモード

ストップウオッチモードで計測したタイムを見ることができます。



時刻・日付の合わせ方

電池交換後などで時刻や日付が合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■ デジタル時刻・日付の合わせ方

1. セット状態にする
時刻・日付モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます
➡「秒」が点滅します。



2. 秒合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて Ⓒ ボタンを押します
➡「00 秒」からスタートします。
※ 秒が 00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30 ～ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）。



3. サマータイム（DST）＊の ON ／ OFF を選ぶ

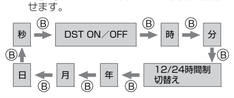
Ⓑ ボタンを押します
➡"DST" マークと "0" または "1" が点滅します。

Ⓒ ボタンを押します
➡サマータイムの ON ／ OFF が切り替わります。
※ "0" ＝サマータイム OFF（通常時間）
"1" ＝サマータイム ON（夏時間）
※ サマータイムを ON にすると通常の時刻より 1 時間早まります。
＊ サマータイムとは DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご使用の際には十分ご注意ください。



4. 「時刻・日付」合わせ

a. Ⓑ ボタンを押します
➡Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. Ⓒ ボタンを押します
➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



a. ～ b. の操作を繰り返して、「時刻・日付」を合わせます。

※「12／24 時間制切替え」のときは、Ⓒ ボタンを押すごとに 12 時間制表示 "12H" と 24 時間制表示 "24H" とが切り替わります。
※「時」のセットのとき、午前／午後（P）または 24 時間制にご注意ください。
※「年」は 2000 ～ 2099 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します
➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま 2 ～ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アナログ（針）部の合わせ方

1. りゅうずを引いて、運針を止めます。

2. りゅうずを回して、時刻を合わせます。
※ 右回り、左回りのどちらにも回すことができます。どちらか近いほうを選んで合わせると早くセットできます。



3. デジタル時刻表示の「秒」が秒針の止まっている位置と同じになったとき、りゅうずを押し込みます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差± 30 秒
基 本 機 能：アナログ部…時・分・秒（3 針）
デジタル部…時刻表示＝時・分・秒、午前／午後（P）／24時間制表示（24）
日付表示＝月・日・曜日、フルオートカレンダー（2000 ～ 2099）
ストップウオッチ機能：計測単位＝ 1/100 秒（00 分 00 秒 00 ～ 59 分 59 秒 99 のとき）
1 秒（1 時間 00 分 00 秒～ 9 時間 59 分 59 秒のとき）
計測範囲＝ 9 時間 59 分 59 秒（10 時間計）
ラップ／スプリット数＝ 1 ～ 99 回
計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ／スプリット計測、ラップ／スプリットタイムメモリー（10 本まで）
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子音＝20秒間
時報　毎正時に 2 回電子音で報時
そ の 他：自動復帰機能、12/24 時間制表示切替え、サマータイム設定機能、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、オートライト機能
使 用 電 池：CR2016　1 個（電池別途販売）
電 池 寿 命：約 3 年
（1 日あたりライト 2 秒間、電子音を 20 秒間使用した場合）
※ ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。

© 2012 CASIO COMPUTER CO., LTD.

Printed in China　MA1112-A

ストップウオッチの使い方

■ 特長

本機のストップウオッチは、1/100 秒単位（1 時間以上になると 1 秒単位）で 9 時間 59 分 59 秒（10 時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。
また、ラップ／スプリット計測を行うと、そのときのタイムを最大 10 本まで記憶し、記憶したタイムはリコールモードで簡単に見ることができます。

● ラップタイムとは…

任意の区間（周回競技では 1 周分）を進むのに要する時間のことです。
例：陸上、モータースポーツなどの周回競技での 1 周あたりのタイム。



計測範囲… ラップタイム（上段に表示）＝ 9 時間 59 分 59 秒（10 時間計）
積算時間（下段に表示）＝ 9 時間 59 分 59 秒（10 時間計）
ラップ数＝ 1 ～ 99 回（99 を超えると "－－" 表示）

● スプリットタイムとは…

スタート地点から任意の地点までの経過時間のことです。
例：マラソンの 10km 地点まで走ったときのタイム。



計測範囲… スプリットタイム（上段に表示）＝ 9 時間 59 分 59 秒（10 時間計）
積算時間（下段に表示）＝ 9 時間 59 分 59 秒（10 時間計）
スプリット数＝ 1 ～ 99 回（99 を超えると "－－" 表示）

■ ストップウオッチ計測のしかた

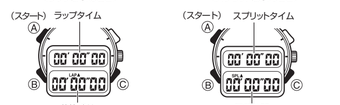
★ ストップウオッチ計測時の表示について

リコールモードで、<ラップ表示>を選んでいるときはラップタイムを、<スプリット表示>を選んでいるときはスプリットタイムを表示します。
※ リコールモードでの表示切替えについては、右記「表示を選ぶ」参照。
※ どの表示を選んでも、ラップ／スプリット計測値のメモリーは両方行われます。

計測開始

Ⓐ ボタンを押します

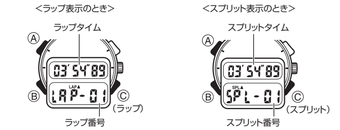
➡ストップウオッチモードのとき、Ⓐ ボタンを押すと計測がスタートします。



ラップ／スプリットタイム計測

Ⓒ ボタンを押します

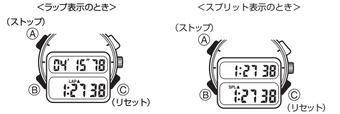
➡Ⓒ ボタンを押したときのタイムを 7 ～ 8 秒間表示し、記憶します（内部では計測を続けています）。以後、Ⓒ ボタンを押すごとにラップ／スプリットタイムを計測・記憶していきます。
※ 計測値が 1 時間以上になると、表示単位が「時・分・秒」になり、1 秒単位で計測を行います。



計測終了

Ⓐ ボタンを押します

➡計測がストップし、終了時のラップ／スプリットタイムを記憶します。
※ 計測値を 0 に戻すには、計測終了後に Ⓒ ボタンを押します。



■ 計測時のボタン操作について

● 通常計測



※ **積算計測**…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに Ⓐ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● ラップ／スプリット計測



※ 計測中に Ⓑ ボタンを押してリコールモードに切り替え、メモリーしたタイムを見ることができます（「計測したデータを見る」参照）。

■ ラップ／スプリットタイムのメモリーについて

本機では、ラップ／スプリットタイムを最大 10 本まで記憶でき、記憶したタイムはリコールモードで見ることができます。
※ 記憶できるのは、計測開始後 9 本までのタイムと計測終了時のタイムとなります。10 本目から計測終了前までのラップ／スプリットタイムは記憶されません。
※ 計測値を 0 に戻してから、新しい計測を始めると、前回記憶したタイムはすべて消去されます。

■ 計測したデータを見る

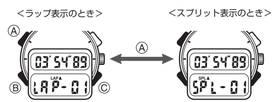
準備：時刻・日付モードのとき、Ⓑ ボタンを 2 回押してリコールモードにします。

● 表示を選ぶ

リコールモードのとき、

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに<ラップ表示>と<スプリット表示>とが切り替わります。
※ リコールモードに切り替えた直後は、ラップ番号 1 またはスプリット番号 1 のタイムが表示されます。



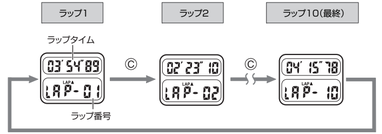
● データを見る

表示を選び、

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに順番にタイムを表示します。
※ リコールモードで見ることができるのは、ストップウオッチ計測中にラップ／スプリット計測または計測終了の操作を行ったタイムのみ（最大 10 本）となります。

<ラップ表示のとき>



<スプリット表示のとき>



アラーム・時報の使い方

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると 20 秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

※ アラーム・時報はデジタル時刻に合わせて鳴ります。

■ アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➡アラーム時刻の「時」が点滅します。
※ このとき、アラームが自動的に ON になり、"▮▮▮" マークが点灯します。



2. セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所のセット

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



2. ～ 3. の操作を繰り返して、「アラーム時刻」をセットします。

※「時」のセットのとき、午前／午後（P）または 24 時間制にご注意ください。
※ 基本時刻を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま 2 ～ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

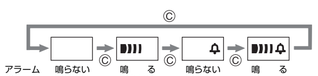
■ アラーム・時報の ON ／ OFF 設定

アラームモードのとき、

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに、アラームマーク "▮▮▮" と時報マーク "🔔" が点灯／消灯を繰り返します。それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。





■ 鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

■ モニターアラーム

どのモードのときでも、Ⓑ ボタンを約 2 秒間押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部には EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるだけで文字板が発光するオートライト機能もあります。

● ボタンを押して発光させる～手動発光～

時刻・日付モードのとき、

Ⓒ ボタンを押します

➡文字板にある EL パネルが約 2 秒間発光します。



※ オートライト OFF（"✥" 不点灯）のときも Ⓒ ボタンを押すと発光します。

● 時計を傾けて発光させる～自動発光（オートライト）～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。
暗い場所で時刻やストップウオッチの計測値などを見るときに大変便利です。

準備 時刻・日付モードまたはストップウオッチモード（計測リセット状態）のとき、Ⓒ ボタンを約 2 秒間押し続け、"✥" を点灯させて「オートライト ON」にします。
※ もう一度 Ⓒ ボタンを約 2 秒間押し続けると、"✥" が消え「オートライト OFF」になります。



文字を発光させる



※ オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。
※ このとき、文字板の左右（3 時－ 9 時方向）の角度を± 15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



＜オートライトご使用時の注意＞

- オートライトが作動するのは、"✥" を点灯させてから**約 5 時間**です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に "✥" が消え、オートライト OFF になります。
- ※ 引き続きオートライトを作動させたいときは、再度 Ⓒ ボタンを約 2 秒間押し続け、"✥" を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約 2 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは OFF** にしておいてください。
- ※ 時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下から振りあげてみると、発光しやすくなります。

＜ EL 発光についての注意事項＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中に確認音が鳴るボタンを押すと、発光を中断します。ただし、確認音が鳴らないボタン（リコールモードでの Ⓒ ボタン等）を押した場合は発光を中断しません。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5 気圧防水	10 気圧防水	20 気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水ースキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でもボタン中、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたまま入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的（2 ～ 3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水遊びど直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が曇somされた場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドがお化やさび（錆）などにより切れたりされたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- ＋ 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・狂った時刻表示」などの原因となります。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により離れん色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高湿多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのものて、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉
- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉
- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店またはご「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います（防水検査は別途有償となります）。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にヒビなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承ってまいります。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。
※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

